

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	073							
事務事業名	橋りょう維持事業費			補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている () 年度まで <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	08	項	02	目	04	事業	01
担当部	都市建設部	担当課	道路維持課	担当係	維持	係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)			根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : 道路法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称 :)													

2 事務事業の目的		当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で、「現状や課題」はどうか？→ ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。																		
現状課題	橋の架け替えは供用開始後50年を目安とされているが、橋長15mを超える65橋のうち現在5橋が50年を超え、10年後に11橋、20年後に35橋、30年後には44橋が対象となることから、コスト削減のために対症療法から損傷が大きくなる前に対策を行う予防保全型への転換を図り、橋梁の寿命を延ばすため、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した。工事等はこの計画に基づき実施しているため、工事を含めた事業費は年度ごとにばらつきが生じる。平和橋の長寿命化修繕工事・耐震補強工事が平成32年度に完成予定のため、平成32年度以降は工事費が減額となる見込みであり、当面は事業費が膨大になる長大橋を含め、定期点検等に伴う維持補修工事が中心となる予定。	誰・何を対象に	市が管理する道路橋																望ましい状態	橋梁の長寿命化・修繕・架替に係る費用の縮減と事業費の平準化を図ることを目的とした計画に基づき、継続的な点検・修繕・計画の見直しを行うことで、橋梁の安全性・信頼性が向上した状態。
どのような方法・手順で	5年ごとの定期点検を実施することで橋梁の健全度を把握し、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁橋梁の修繕・耐震工事を行う。																			

3 事務事業の主たる成果指標		数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。																	
指標名	定期点検橋梁数	単位	橋	目標値	478	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	橋梁の現状を正確に把握し、点検データを基にした予防的修繕を行うことで安全性・信頼性を向上させる。									

4 事務事業の実績 ①		当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																												
年度	2016年度				2017年度				2018年度																					
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量																		
事務事業を構成する主な業務	① 定期点検業務(2～15m未満/石下西部地区)	84橋	① 定期点検業務(2～15m未満/水海道東部地区)	108橋	① 定期点検業務(2～15m未満/水海道西部地区)	96橋																								
	② 長寿命化修繕計画による橋梁点検業務(15m以上)	36橋	② 長寿命化修繕計画による橋梁点検業務(15m以上)	19橋	② 長寿命化修繕計画更新業務	65橋																								
	③ 橋梁台帳作成・既存台帳更新業務	84・33橋	③ 補修工事積算業務	4橋	③ 橋梁長寿命化修繕工事積算業務委託	2橋																								
	④		④ 耐震補強工事積算業務	1橋	④ 耐震補強工事監理業務	1橋																								
	⑤		⑤ 橋梁調査設計業務	3橋	⑤ 耐震補強工事積算業務	1橋																								
	⑥		⑥ 耐震補強工事監理業務	1橋	⑥ 橋梁長寿命化修繕工事詳細調査設計業務	4橋																								
	⑦		⑦ 橋梁台帳作成・既存台帳更新業務	108・20橋	⑦ 橋脚試掘調査業務委託	1橋																								
	⑧		⑧ 長寿命化修繕工事	4橋	⑧ 長寿命化修繕工事	2橋																								
	⑨		⑨ 耐震補強工事	1橋	⑨ 耐震補強工事	1橋																								
	⑩		⑩ 補修工事	3橋	⑩																									
	⑪		⑪		⑪																									
	⑫		⑫		⑫																									
	目標値に対する実績値	84	橋	目標値に対する実績値	108	橋	目標値に対する実績値	96	橋																					
決算額	計	125,542,130	円	内訳	特定財源		円	一般財源	125,542,130	円	計	140,170,684	円	内訳	特定財源		円	一般財源	140,170,684	円	計	196,694,768	円	内訳	特定財源	166,628,428	円	一般財源	30,066,340	円
		(住民一人あたりの行政コスト)	2,064	円		(住民一人あたりの行政コスト)	2,318	円		(住民一人あたりの行政コスト)	3,279	円																		

5 担当者評価 ③		実施したことによる成果や問題点を記入してください。																	
成果	目標どおり 成果内容 計画に基づいた点検・工事を実施しており、目標値には達していないが目標どおりとする。																		
問題点	過去の事例を見て老朽化等による橋梁事故は大きな大きな被害を及ぼすこと、また、架け換えとなれば多額の費用が必要となることから、長寿命化の推進と日常的な維持補修は必須である。																		

6 担当部長及び担当課長評価 ③		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。																	
事務事業の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																	
評価理由	橋梁の健全度を把握するため、点検は5年に1度実施する必要があるが、市で管理している橋梁は478橋で、うち15m以上は65橋あり老朽化が進んでいる状況である。15m以上の橋梁については、長寿命化修繕計画を策定し、計画的に現在15橋を実施しているが、その他橋梁の計画的かつ予防的な修繕計画を策定し、適切な橋梁の維持管理を実施しなければならぬため、事業・予算の拡充が必要である。																		

7 実施計画 ⑩		今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。																	
年度	2019年度				2020年度				2021年度										
事業内容	定期点検(5年に1度) 修繕工事の実施 長寿命化修繕計画の策定・見直し 損傷等が見つかった橋梁について詳細調査・実施設計を委託				定期点検(5年に1度) 修繕工事の実施 長寿命化修繕計画の策定・見直し 損傷等が見つかった橋梁について詳細調査・実施設計を委託				定期点検(5年に1度) 修繕工事の実施 長寿命化修繕計画の策定・見直し 損傷等が見つかった橋梁について詳細調査・実施設計を委託										
	① 5年に1度、近接目視による全数点検を実施(H26.7道路法改正により義務化) ② 点検結果に基づき、長寿命化修繕計画の策定・見直しを実施 ③ 点検結果・計画に基づき詳細調査設計を実施 ④ 修繕工事を実施				① 5年に1度、近接目視による全数点検を実施(H26.7道路法改正により義務化) ② 点検結果に基づき、長寿命化修繕計画の策定・見直しを実施 ③ 点検結果・計画に基づき詳細調査設計を実施 ④ 修繕工事を実施				① 5年に1度、近接目視による全数点検を実施(H26.7道路法改正により義務化) ② 点検結果に基づき、長寿命化修繕計画の策定・見直しを実施 ③ 点検結果・計画に基づき詳細調査設計を実施 ④ 修繕工事を実施										
	成果指標	指標名	定期点検橋梁数	単位	橋	目標値	90	指標名	定期点検橋梁数	単位	橋	目標値	100	指標名	定期点検橋梁数	単位	橋	目標値	84
	予算額	歳出	計			245,371	千円	歳出	計			264,369	千円	歳出	計			145,369	千円
		特定財源			206,654	千円		特定財源			216,395	千円		特定財源			141,300	千円	
	歳入	一般財源			38,717	千円	歳入	一般財源			47,974	千円	歳入	一般財源			4,069	千円	
		計			245,371	千円		計			264,369	千円		計			145,369	千円	

8 財務アドバイザーの見解	『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。
---------------	---

9 行政改革懇談会(市民)の意見	担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。施設の耐用年数が近づいているため、計画に沿って長寿命化を推進し、適切な維持管理を実施して行って欲しい。
------------------	---

10 最終評価(行政改革推進本部) ③		事務事業の方向性																	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																	
評価理由	橋りょうの寿命を延ばし維持管理していく「予防保全型」をさらに推進する必要がある。																		

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ④		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。																	
事業内容																			